

HSBC ブラジル債券 オープン（毎月決算型）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2008年9月30日～2023年9月25日	
運 用 方 針	ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国（「ブラジル」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）	ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル債券マザーファンド	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組 入 制 限	HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ブラジル債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分 配 方 針	年12回の決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第139期	（決算日	2020年4月27日）
第140期	（決算日	2020年5月25日）
第141期	（決算日	2020年6月25日）
第142期	（決算日	2020年7月27日）
第143期	（決算日	2020年8月25日）
第144期	（決算日	2020年9月25日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）」は、2020年9月25日に第144期の決算を行いましたので、第139期～第144期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBC 投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
 <<お問い合わせ先（投信営業本部）>>
 電話番号：03-3548-5690
 （営業日の午前9時～午後5時）
 ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◎最近5作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	期 騰 落 中 率		債券組入率 比	債券先物率 比	純 資 産 額 総
			税 込 分 配	み 金			
		円	円	%	%	%	百万円
第20作成期	第115期 (2018年 4月25日)	4,931	35	△ 0.6	97.9	—	34,135
	第116期 (2018年 5月25日)	4,615	35	△ 5.7	97.2	—	31,334
	第117期 (2018年 6月25日)	4,315	35	△ 5.7	96.4	—	28,881
	第118期 (2018年 7月25日)	4,505	35	5.2	99.3	—	29,900
	第119期 (2018年 8月27日)	4,027	35	△ 9.8	98.6	—	26,852
	第120期 (2018年 9月25日)	4,115	30	2.9	97.6	—	27,287
第21作成期	第121期 (2018年10月25日)	4,620	30	13.0	97.2	—	30,244
	第122期 (2018年11月26日)	4,602	30	0.3	97.2	—	29,068
	第123期 (2018年12月25日)	4,432	30	△ 3.0	96.7	—	27,719
	第124期 (2019年 1月25日)	4,596	30	4.4	98.7	—	28,370
	第125期 (2019年 2月25日)	4,686	30	2.6	98.6	—	28,230
	第126期 (2019年 3月25日)	4,437	30	△ 4.7	98.2	—	26,066
第22作成期	第127期 (2019年 4月25日)	4,434	30	0.6	97.4	—	25,806
	第128期 (2019年 5月27日)	4,308	30	△ 2.2	96.9	—	24,904
	第129期 (2019年 6月25日)	4,557	30	6.5	96.6	—	26,035
	第130期 (2019年 7月25日)	4,700	30	3.8	99.2	—	26,211
	第131期 (2019年 8月26日)	4,155	30	△11.0	98.6	—	23,041
	第132期 (2019年 9月25日)	4,207	30	2.0	98.3	—	23,179
第23作成期	第133期 (2019年10月25日)	4,466	30	6.9	97.5	—	24,550
	第134期 (2019年11月25日)	4,249	30	△ 4.2	96.8	—	23,363
	第135期 (2019年12月25日)	4,360	30	3.3	96.0	—	23,947
	第136期 (2020年 1月27日)	4,269	30	△ 1.4	99.0	—	23,329
	第137期 (2020年 2月25日)	4,155	25	△ 2.1	99.1	—	22,558
	第138期 (2020年 3月25日)	3,352	25	△18.7	98.0	—	17,999
第24作成期	第139期 (2020年 4月27日)	3,045	15	△ 8.7	97.6	—	16,278
	第140期 (2020年 5月25日)	3,173	15	4.7	97.0	—	16,781
	第141期 (2020年 6月25日)	3,297	15	4.4	96.5	—	17,176
	第142期 (2020年 7月27日)	3,364	15	2.5	98.6	—	17,181
	第143期 (2020年 8月25日)	3,116	15	△ 6.9	98.9	—	15,641
	第144期 (2020年 9月25日)	3,118	15	0.5	98.2	—	15,391

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期中の基準価額等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比
			騰 落 率		
第139期	(期 首) 2020年3月25日	円 3,352	% —	% 98.0	% —
	3月末	3,367	0.4	97.9	—
	(期 末) 2020年4月27日	3,060	△8.7	97.6	—
第140期	(期 首) 2020年4月27日	3,045	—	97.6	—
	4月末	3,257	7.0	97.5	—
	(期 末) 2020年5月25日	3,188	4.7	97.0	—
第141期	(期 首) 2020年5月25日	3,173	—	97.0	—
	5月末	3,274	3.2	96.9	—
	(期 末) 2020年6月25日	3,312	4.4	96.5	—
第142期	(期 首) 2020年6月25日	3,297	—	96.5	—
	6月末	3,300	0.1	96.4	—
	(期 末) 2020年7月27日	3,379	2.5	98.6	—
第143期	(期 首) 2020年7月27日	3,364	—	98.6	—
	7月末	3,394	0.9	98.7	—
	(期 末) 2020年8月25日	3,131	△6.9	98.9	—
第144期	(期 首) 2020年8月25日	3,116	—	98.9	—
	8月末	3,219	3.3	98.7	—
	(期 末) 2020年9月25日	3,133	0.5	98.2	—

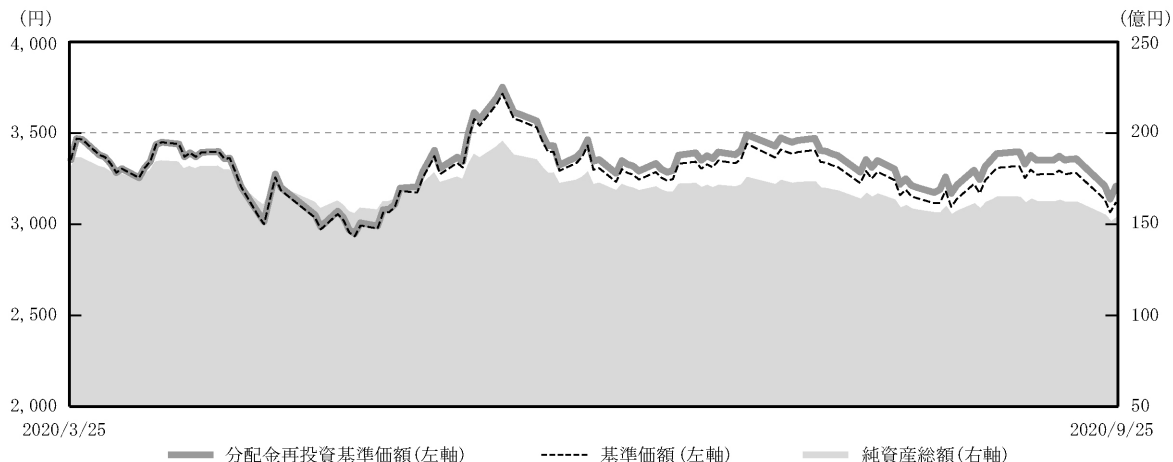
(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第139期～第144期：2020年3月26日～2020年9月25日）



【基準価額・騰落率】

第139期首：3,352円

第144期末：3,118円（既払分配金（税込み）：90円）

騰落率：－4.3%（分配金再投資ベース）

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、それぞれのお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・ 分配金再投資基準価額は、作成期首（2020年3月25日）の値を基準価額と同一になるように指数化しております。

2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回り低下）および利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

ブラジルレアルが対円で大幅に下落したことが、マイナスに働きました。

3. 投資環境について

【債券市況】

作成期初は、3月初旬に新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で、投資家のリスク回避志向が高まりブラジル債券市場が急落(利回りは上昇)した直後と重なりました。作成期初から7月までは、世界的な感染拡大ペースの鈍化、経済活動の再開から市場は落ち着きを取り戻し、ブラジル債券市場はブラジル中央銀行の利下げも追い風となり上昇(利回りは低下)しました。8月から作成期末までは、新型コロナウイルス対策による歳出増に伴う財政悪化懸念などから下落(利回りは上昇)に転じました。

【為替相場】

ブラジルレアルは対円で、作成期初から5月初めにかけて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大、さらにブラジル国内での感染拡大の深刻化を受けて、下落しました。その後、5月半ばから作成期末までは、上下動を繰り返しながらも、底固い動きとなりました。

4. ポートフォリオについて

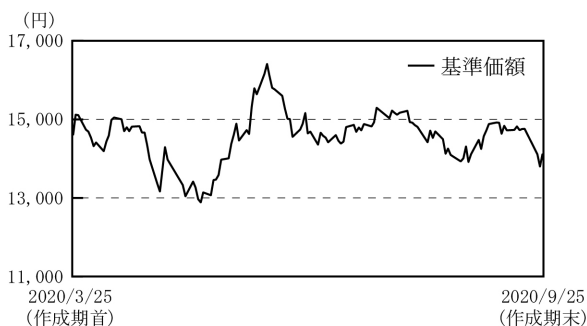
<HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資しました。

<ブラジル債券マザーファンド>

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を33～35%程度、固定利付債は62～67%程度、物価連動国債を0～3%程度としました。また、キャッシュ比率は0.4～0.9%程度に維持しました。

基準価額(マザーファンド)の推移



5. ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

6. 分配金について

第139期から第144期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも15円(1万口当たり・税引前)とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

7. 今後の運用方針

当面は世界および国内の新型コロナウイルスの感染状況をめぐり、ブラジルの金融市場は不安定な動きを続ける可能性があります。しかしながら、ブラジル中央銀行による金融緩和に加えて、政府も健康と雇用の維持を目的とした大規模な経済支援策を打ち出しています。金融・財政両面のサポートは、新型コロナウイルスのブラジル経済および金融市場への影響を和らげることが期待されます。

ブラジル債券市場は中長期的に有望な投資対象との当社の見方に変わりはありません。依然として相対的に高い利回りに妙味があり、また引き続きインフレ率の安定推移がサポート要因になると考えます。さらに政府の進める経済構造改革も、長期的には財政収支を改善させ、経済成長ポテンシャルを高めるものであり、ブラジル債券市場にとり追い風になると見込まれます。

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<ブラジル債券マザーファンド>

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルレアル建債券を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルレアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことです。

ただし、債券を購入するための為替取引に対しては当作成期末現在の課税は0%です。一方、債券の売買、ブラジルレアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルレアル建ての債券を購入いたします。その際の為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに債券を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

◎1万口当たりの費用明細

項目	作成期間(第139期～第144期)		項目の概要
	2020/3/26～2020/9/25		
	金額	比率	
(a)信 託 報 酬	円 28	% 0.859	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(15)	(0.444)	ファンドの運用等の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販 売 会 社)	(13)	(0.388)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内での ファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	3	0.093	(b)その他費用＝作成期中のその他費用／作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.083)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(0)	(0.007)	振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	31	0.952	
作成期中の平均基準価額は、3,301円です。			

(注) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b)その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

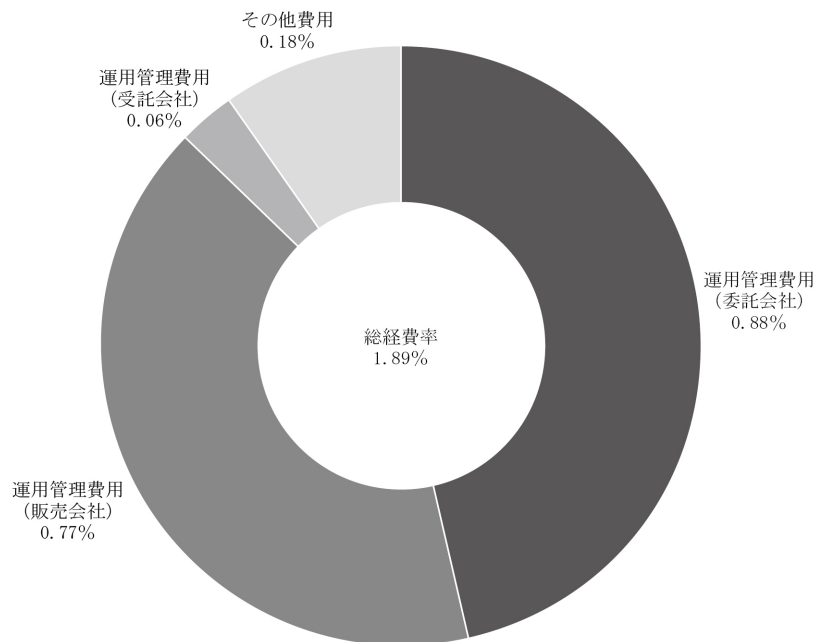
(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.89%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎親投資信託受益証券の設定、解約状況（2020年3月26日から2020年9月25日まで）

決 算 期	第 139 期 ～ 第 144 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ブラジル債券マザーファンド	255,902	374,139	1,701,767	2,464,643

（注）単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2020年3月26日から2020年9月25日まで）

親投資信託における当作成期中の利害関係人との取引状況

区 分	第 139 期 ～ 第 144 期					
	買 付 額 等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売 付 額 等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為 替 直 物 取 引	1,940	—	—	3,950	135	3.4

平均保有割合99.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

（注）単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2020年9月25日現在

種 類	第23作成期末	第 24 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ブラジル債券マザーファンド	12,427,494	10,981,629	15,490,686

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

<補足情報>

当ファンドが組入対象とする「ブラジル債券マザーファンド」の決算日は当ファンドの決算日と異なります。当ファンドの決算日現在におけるマザーファンド全体（11,091,648千口）の組入資産の内容を以下に記載します。

外国（外貨建）公社債（2020年9月25日現在）

(A) 債券種類別開示

区 分	第 24 作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 756,750	千ブラジルレアル 797,553	千円 15,273,157	% 97.6	% 97.6	% 20.2	% 60.5	% 17.0
合 計	756,750	797,553	15,273,157	97.6	97.6	20.2	60.5	17.0

(注) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 単位未満は切捨て。
(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。
(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	第 24 作 成 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ブラジル)		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
LTN 01/01/2022		—	65,100	62,782	1,202,281	2022/1/1
LTN 01/01/2024		—	4,000	3,346	64,078	2024/1/1
LTN 07/01/2022		—	81,000	76,024	1,455,865	2022/7/1
LTN 07/01/2023		—	132,000	115,207	2,206,215	2023/7/1
NTN-F 10% 01/01/2023	国 債 証 券	10.0	189,500	211,740	4,054,829	2023/1/1
NTN-F 10% 01/01/2025		10.0	143,150	163,702	3,134,908	2025/1/1
NTN-F 10% 01/01/2027		10.0	84,000	96,785	1,853,439	2027/1/1
NTN-F 10% 01/01/2029		10.0	50,000	58,552	1,121,288	2029/1/1
NTN-F 10% 01/01/2031		10.0	8,000	9,412	180,251	2031/1/1
合 計	—	—	—	—	15,273,157	—

(注) 邦貨換算金額は、作成期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。
(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

◎投資信託財産の構成

2020年9月25日現在

項 目	第 24 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル債券マザーファンド	15,490,686	99.7
コール・ローン等、その他	39,177	0.3
投資信託財産総額	15,529,863	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ブラジル債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（15,654,515千円）の投資信託財産総額（15,685,083千円）に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル＝105.56円、1ブラジルレアル＝19.15円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年4月27日) (2020年5月25日) (2020年6月25日) (2020年7月27日) (2020年8月25日) (2020年9月25日)

項 目	第 139 期 末	第 140 期 末	第 141 期 末	第 142 期 末	第 143 期 末	第 144 期 末
(A) 資 産	16,410,278,002円	16,921,509,352円	17,328,238,930円	17,322,385,998円	15,768,292,867円	15,529,863,599円
ブラジル債券マザーファンド(評価額)	16,387,003,366	16,882,781,936	17,281,456,936	17,284,697,982	15,740,807,027	15,490,686,351
未 収 入 金	23,274,636	38,727,416	46,781,994	37,688,016	27,485,840	39,177,248
(B) 負 債	131,585,796	140,053,726	151,936,006	141,105,696	126,803,933	138,270,302
未 払 収 益 分 配 金	80,195,074	79,340,702	78,149,417	76,607,911	75,296,626	74,042,135
未 払 解 約 金	23,274,636	38,727,416	46,781,994	37,688,016	27,485,840	39,177,248
未 払 信 託 報 酬	27,790,115	21,408,519	26,121,111	25,625,699	22,572,622	23,328,437
その他未払費用	325,971	577,089	883,484	1,184,070	1,448,845	1,722,482
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	16,278,692,206	16,781,455,626	17,176,302,924	17,181,280,302	15,641,488,934	15,391,593,297
元 本	53,463,382,826	52,893,801,543	52,099,611,434	51,071,940,996	50,197,750,762	49,361,423,339
次 期 繰 越 損 益 金	△37,184,690,620	△36,112,345,917	△34,923,308,510	△33,890,660,694	△34,556,261,828	△33,969,830,042
(D) 受 益 権 総 口 数	53,463,382,826口	52,893,801,543口	52,099,611,434口	51,071,940,996口	50,197,750,762口	49,361,423,339口
1万口当たり基準価額(C／D)	3,045円	3,173円	3,297円	3,364円	3,116円	3,118円

<注記事項（当運用報告書作成時点では、監査未了です。）>

(注) 当ファンドの第139期首元本額は53,691,506,229円、第139～144期中追加設定元本額は1,140,979,622円、第139～144期中一部解約元本額は5,471,062,512円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

◎損益の状況

	自2020年3月26日 至2020年4月27日	自2020年4月28日 至2020年5月25日	自2020年5月26日 至2020年6月25日	自2020年6月26日 至2020年7月27日	自2020年7月28日 至2020年8月25日	自2020年8月26日 至2020年9月25日
項 目	第 139 期	第 140 期	第 141 期	第 142 期	第 143 期	第 144 期
(A) 有価証券売買損益	△ 1,536,524,190円	776,821,040円	745,672,025円	445,586,292円	△ 1,147,779,078円	106,347,208円
売 買 益	2,002,025	789,164,226	770,524,316	458,275,928	8,133,029	121,145,198
売 買 損	△ 1,538,526,215	△ 12,343,186	△ 24,852,291	△ 12,689,636	△ 1,155,912,107	△ 14,797,990
(B) 信託報酬等	△ 28,116,086	△ 21,659,637	△ 26,427,506	△ 25,926,285	△ 22,837,397	△ 23,602,074
(C) 当期損益金(A+B)	△ 1,564,640,276	755,161,403	719,244,519	419,660,007	△ 1,170,616,475	82,745,134
(D) 前期繰越損益金	△12,020,207,216	△13,485,568,987	△12,550,808,411	△11,627,182,029	△11,058,038,179	△12,047,993,338
(E) 追加信託差損益金	△23,519,648,054	△23,302,597,631	△23,013,595,201	△22,606,530,761	△22,252,310,548	△21,930,539,703
(配当等相当額)	(624,379,670)	(618,219,073)	(609,885,721)	(598,953,932)	(589,456,738)	(580,586,555)
(売買損益相当額)	(△24,144,027,724)	(△23,920,816,704)	(△23,623,480,922)	(△23,205,484,693)	(△22,841,767,286)	(△22,511,126,258)
(F) 計 (C+D+E)	△37,104,495,546	△36,033,005,215	△34,845,159,093	△33,814,052,783	△34,480,965,202	△33,895,787,907
(G) 収益分配金	△ 80,195,074	△ 79,340,702	△ 78,149,417	△ 76,607,911	△ 75,296,626	△ 74,042,135
次期繰越損益金(F+G)	△37,184,690,620	△36,112,345,917	△34,923,308,510	△33,890,660,694	△34,556,261,828	△33,969,830,042
追加信託差損益金	△23,519,648,054	△23,302,597,631	△23,013,595,201	△22,606,530,761	△22,252,310,548	△21,930,539,703
(配当等相当額)	(624,502,708)	(618,310,146)	(610,244,281)	(599,122,858)	(589,579,308)	(580,749,750)
(売買損益相当額)	(△24,144,150,762)	(△23,920,907,777)	(△23,623,839,482)	(△23,205,653,619)	(△22,841,889,856)	(△22,511,289,453)
分配準備積立金	150,689,066	165,648,732	189,658,827	206,928,766	201,574,544	204,460,777
繰越損益金	△13,815,731,632	△12,975,397,018	△12,099,372,136	△11,491,058,699	△12,505,525,824	△12,243,751,116

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第139期計算期間末における費用控除後の配当等収益(91,113,546円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(624,502,708円)および分配準備積立金(139,770,594円)より分配対象収益は855,386,848円(10,000口当たり159円)であり、うち80,195,074円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第140期計算期間末における費用控除後の配当等収益(95,880,279円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(618,310,146円)および分配準備積立金(149,109,155円)より分配対象収益は863,299,580円(10,000口当たり163円)であり、うち79,340,702円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第141期計算期間末における費用控除後の配当等収益(105,337,299円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(610,244,281円)および分配準備積立金(162,470,945円)より分配対象収益は878,052,525円(10,000口当たり168円)であり、うち78,149,417円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第142期計算期間末における費用控除後の配当等収益(97,551,389円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(599,122,858円)および分配準備積立金(185,985,288円)より分配対象収益は882,659,535円(10,000口当たり172円)であり、うち76,607,911円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第143期計算期間末における費用控除後の配当等収益(73,239,573円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(589,579,308円)および分配準備積立金(203,631,597円)より分配対象収益は866,450,478円(10,000口当たり172円)であり、うち75,296,626円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第144期計算期間末における費用控除後の配当等収益(80,765,059円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(580,749,750円)および分配準備積立金(197,737,853円)より分配対象収益は859,252,662円(10,000口当たり174円)であり、うち74,042,135円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、21,531,952円です。

◎分配金のお知らせ

	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
1万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◎分配原資の内訳

（単位：1万口当たり・税引前）

	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
当期分配金	15円	15円	15円	15円	15円	15円
（対基準価額比率）	0.490%	0.471%	0.453%	0.444%	0.479%	0.479%
当期の収益	15円	15円	15円	15円	14円	15円
当期の収益以外	—	—	—	—	0円	—
翌期繰越分配対象額	144円	148円	153円	157円	157円	159円

◇「（対基準価額比率）」は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。

◇「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◆親投資信託「ブラジル債券マザーファンド」の運用状況
第12期（2019年9月19日～2020年9月18日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主にブラジルの債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組 入 制 限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
第 8 期（2016年9月20日）	円 13,831	% 26.5	% 97.5	% —	百万円 34,475
第 9 期（2017年9月19日）	18,856	36.3	97.7	—	43,688
第10期（2018年9月18日）	15,044	△20.2	96.4	—	27,009
第11期（2019年9月18日）	17,951	19.3	97.4	—	24,320
第12期（2020年9月18日）	14,759	△17.8	97.6	—	16,404

（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

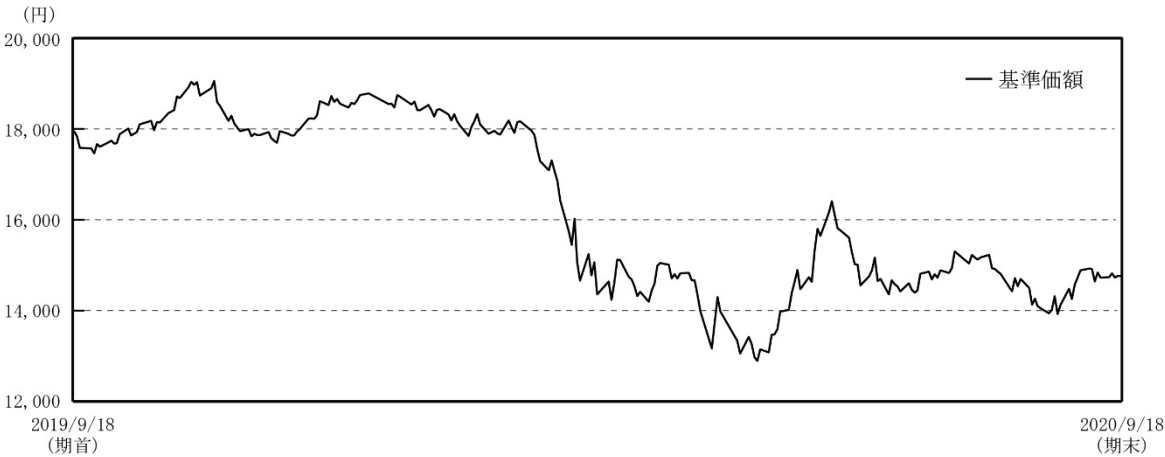
◎当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%
2019年 9月18日	17,951	—	97.4	—
9月末	17,696	△ 1.4	97.9	—
10月末	19,026	6.0	97.4	—
11月末	17,951	0.0	96.3	—
12月末	18,780	4.6	95.7	—
2020年 1月末	18,067	0.6	98.9	—
2月末	17,285	△ 3.7	99.0	—
3月末	14,684	△18.2	97.9	—
4月末	14,297	△20.4	97.5	—
5月末	14,459	△19.5	96.9	—
6月末	14,659	△18.3	96.4	—
7月末	15,168	△15.5	98.7	—
8月末	14,474	△19.4	98.7	—
(期 末)				
2020年 9月18日	14,759	△17.8	97.6	—

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について (第12期：2019年9月19日～2020年9月18日)



2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回り低下）および利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

ブラジルレアルが対円で大幅に下落したことが、マイナスに働きました。

3. 投資環境について

【債券市況】

ブラジル債券市場は、期初から2020年3月初めまでは、上下動を繰り返しながらも、債券価格は上昇(利回りは低下)基調となりました。世界的な金融緩和の流れ、国内ではインフレ率の低位安定を背景としたブラジル中央銀行による利下げが追い風となりました。3月初めから下旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大と世界経済への影響を巡る懸念から、投資家の新興国に対するセンチメントが大きく悪化する中で、ブラジルでも感染が拡大し、ブラジル債券市場は大幅に下落（利回りは上昇）しました。3月末から7月にかけては、世界的な感染拡大ペースの鈍化、経済活動の再開から市場は落ち着きを取り戻し、ブラジル債券市場は中央銀行の利下げも追い風となり上昇（利回りは低下）しました。8月から期末までは、新型コロナウイルス対策による歳出増に伴う財政悪化懸念などから再び下落(利回りは上昇)しました。

【為替相場】

ブラジルレアルは対円で、期初から2019年末までは、年金制度改革法案の成立などボルソナロ政権が進める構造改革の前進、景気回復期待などを背景に強含みました。2020年に入ると、ブラジルの金利低下を背景に下落に転じ、3月から5月初めにかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、投資家の新興国通貨に対するセンチメントが悪化する中で大幅に下落しました。特にブラジルレアルは国内での感染の急速な拡大が嫌気されました。その後、5月半ばから期末までは底固い展開となりました。

4. ポートフォリオについて

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を21～35%程度、固定利付債は62～75%程度、物価連動国債を0～3%程度としました。また、キャッシュ比率は0.2～1.1%程度に維持しました。

5. 今後の運用方針

当面は世界および国内の新型コロナウイルスの感染状況をめぐり、ブラジルの金融市場は不安定な動きを続ける可能性があります。しかしながら、中央銀行による金融緩和に加えて、政府も健康と雇用の維持を目的とした大規模な経済支援策を打ち出しています。金融・財政両面のサポートは、新型コロナウイルスのブラジル経済および金融市場への影響を和らげることが期待されます。

ブラジル債券市場は中長期的に有望な投資対象との当社の見方に変わりはありません。依然として相対的に高い利回りに妙味があり、また引き続きインフレ率の安定推移がサポート要因になると考えます。さらに政府の進める経済構造改革も、長期的には財政収支を改善させ、経済成長ポテンシャルを高めるものであり、ブラジル債券市場にとり追い風になると見込まれます。

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高めに維持しています。

◎1万口当たりの費用明細（2019年9月19日から2020年9月18日まで）

項 目	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	26円	0.161%
（保 管 費 用）	(26)	(0.161)
（そ の 他）	(0)	(0.000)
合 計	26	0.161

- ・期中のマザーファンドの平均基準価額は16,378円です。
- ・各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、5ページをご参照ください。

◎当期中の売買及び取引の状況（2019年9月19日から2020年9月18日まで）

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ブラジル	国 債 証 券	千ブラジルレアル 135,407	千ブラジルレアル 255,788

（注）金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

（注）単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2019年9月19日から2020年9月18日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為 替 直 物 取 引	百万円 3,998	百万円 —	% —	百万円 7,905	百万円 172	% 2.2

（注）単位未満は切捨て。

* 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

外国（外貨建）公社債（2020年9月18日現在）

(A) 債券種類別開示

区 分	当			期		末		
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 756,750	千ブラジルレアル 800,219	千円 16,004,381	% 97.6	% 97.6	% 20.2	% 60.4	% 16.9
合 計	756,750	800,219	16,004,381	97.6	97.6	20.2	60.4	16.9

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）単位未満は切捨て。

（注）評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

（注）BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘柄名	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
LTN 01/01/2022		—	65,100	62,738	1,254,778	2022/1/1
LTN 01/01/2024		—	4,000	3,360	67,212	2024/1/1
LTN 07/01/2022		—	81,000	76,010	1,520,206	2022/7/1
LTN 07/01/2023		—	132,000	115,548	2,310,975	2023/7/1
NTN-F 10% 01/01/2023	国 債 証 券	10.0	189,500	212,313	4,246,270	2023/1/1
NTN-F 10% 01/01/2025		10.0	143,150	164,532	3,290,642	2025/1/1
NTN-F 10% 01/01/2027		10.0	84,000	97,429	1,948,587	2027/1/1
NTN-F 10% 01/01/2029		10.0	50,000	58,826	1,176,537	2029/1/1
NTN-F 10% 01/01/2031		10.0	8,000	9,458	189,170	2031/1/1
合 計	—	—	—	—	16,004,381	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

◎投資信託財産の構成

2020年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	16,004,381	97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	453,918	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	16,458,299	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産（16,401,557千円）の投資信託財産総額（16,458,299千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=104.84円、1ブラジルレアル=20.00円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年9月18日現在

項	目	当 期 末
(A)	資 産	16,458,299,355円
	コ ー ル ・ ロ ー ン 等	248,453,458
	公 社 債(評価額)	16,004,381,006
	未 収 利 息	203,974,480
	前 払 費 用	1,490,411
(B)	負 債	53,326,020
	未 払 解 約 金	53,325,868
	未 払 利 息	152
(C)	純 資 産 総 額(A－B)	16,404,973,335
	元 本	11,114,928,901
	次 期 繰 越 損 益 金	5,290,044,434
(D)	受 益 権 総 口 数	11,114,928,901口
	1万口当たり基準価額(C／D)	14,759円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

《注記事項》

※期首元本額	13,548,008,602円
期中追加設定元本額	1,133,598,206円
期中一部解約元本額	3,566,677,907円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額	
HSBC ブラジル債券オープン（1年決算型）	111,646,728円
HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）	11,003,282,173円

◎損益の状況

自2019年9月19日
至2020年9月18日

項	目	当 期
(A)	配 当 等 収 益	1,352,031,669円
	受 取 利 息	1,352,091,720
	支 払 利 息	△ 60,051
(B)	有 価 証 券 売 買 損 益	△ 5,382,169,497
	売 買 益	302,042,984
	売 買 損	△ 5,684,212,481
(C)	信 託 報 酬 等	△ 32,984,657
(D)	当 期 損 益 金(A＋B＋C)	△ 4,063,122,485
(E)	前 期 繰 越 損 益 金	10,772,313,790
(F)	追 加 信 託 差 損 益 金	828,053,843
(G)	解 約 差 損 益 金	△ 2,247,200,714
(H)	計 (D＋E＋F＋G)	5,290,044,434
	次 期 繰 越 損 益 金(H)	5,290,044,434

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等の主なものは、保管費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◆お知らせ◆

＜約款変更のお知らせ＞ ありません。
＜その他のお知らせ＞ ありません。